

刈谷市

# 歴史の小径

れきしのこみち

## 東海道（今川・今岡・一里山・一ツ木）編



刈谷市歴史博物館  
KARIYA city Museum of History

一ツ木①密蔵院



### ① 密蔵院 [みつぞういん]

三河三弘法の第3番霊場。本尊は弥勒菩薩、当初真言宗で泉田町にあった。正徳4年(1714)臨済宗に改宗した。安永3年(1774)焼失し、後に長寿寺(現名古屋市)2世が現在地に大師堂と共に再建した。大師堂には流涕大師が安置されている。



密蔵院

### ② 一里塚 [いちりづか]

大きな道路の側に1里(約4km)ごとに土を盛り、エノキやマツなどの樹木を植えて旅行者の道のりの目印としたもの。江戸時代には全国の主な街道に設置された。国道1号の開通により、当時の面影は残っていない。

### ③ 一ツ木神明社 [ひとつぎしんめいしゃ]

創建年代不明。境内に、享和元年(1801)、文化8年(1811)、同10年の常夜灯がある。境内には、一ツ木村の庄屋を勤め、村民の負担軽減のために藩と折衝を重ねた生駒甚兵衛の碑(昭和5年建立)がある。



一ツ木神明社

### ④ 西福寺 [さいふくじ]

三河三弘法の第2番霊場。寛正年間(1460~66)阿弥陀如来を本尊とする雲涼院(天台宗)と弘法伝説にある「見送り大師」を本尊とする西福寺(真言宗)の両寺が兵火により焼失したため、草堂(跡地を蓮台と呼ぶ)に両寺の本尊をまつっていた。慶長元年(1596)両寺を合併再興し現寺名となり、のち曹洞宗に改宗する。



西福寺

### ⑤ 法林寺 [ほうりんじ]

開創は宝曆元年(1751)。本尊は阿弥陀如来。寺宝の「方便法身尊影蓮糸阿弥陀如来画像」は室町時代末期の作で、蓮如上人の息女・見玉尼が布地を蓮糸で織り、蓮如上人が如来像を描いたと伝わる。本作は、市指定文化財。

# 刈谷市 全域マップ



## 一里山・一つ木 いちりやま・ひとつぎ

三河三弘法の霊場である密蔵院(一里山)から、西福寺(一つ木村)をつなぐ道は弘法道と呼ばれ、参拝客でにぎわいを見せていた。「一つ木」の名前は、大師井にそびえていた大樹が刈谷城の鼓檣門に用いられたとする伝説に由来する。

## 東海道 とうかいどう

慶長6年(1601)、関ヶ原の戦い後、徳川家康によって整備された江戸・日本橋から京都までの街道である。刈谷ではほぼ国道1号に沿っており、池鯉鮒宿と鳴海宿の間にある街道筋では休憩のための数件の茶屋が立ち並び、旅人が疲れを癒していた。

## 刈谷市歴史博物館

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1  
TEL:0566-63-6100 FAX:0566-63-6108  
<http://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>

2021.03



### ① お富士松 [おふじまつ]

桶狭間の戦い後、敗走する今川勢に織田氏の間者と疑われ殺害された旅人を哀れんだ村人が葬り、松を植えたことに由来する。当初は今より南東に位置していたが、昭和34年伊勢湾台風で枯れ、現在の地に新たに植えられた。



お富士松

### ② 乗蓮寺 [じょうれんじ]

真宗大谷派。江戸前期の草創とされる。境内の樹齢850年のシイは、伊勢湾台風により幹の大部分に損害を受けたが、現在は回復して市の天然記念物に指定されている。



乗蓮寺 シイ

## 東海道 散策ルート

### ⑤ 洞隣寺 [とうりんじ]

天正8年(1580)に水野忠重の開基とされる曹洞宗の寺。境内には、帰国途上で刺し違えた豊前(現大分県)中津藩主の墓と、高津波にある医王寺の青年僧に片思いし恋焦がれるあまり絶食して命を絶ち、死後火玉となつて「めったいくやしい」と叫んだ女の墓がある。

### ⑥ 十王堂 [じゅうおうどう]

あの世で亡くなった人を裁く十人の王を祀るお堂。伊勢湾台風の際にお堂が失われ、昭和38年(1963)に再建された。十王の他に近隣にあった石地蔵もまとめられている。

[いまおかしんめいしゃ]

### ⑦ 今岡神明社

天正17年(1589)に水野家臣とされる鈴木大之進により創建。江戸時代を通じて修築や再建が繰り返され、境内が整備された。末社に津島天王社、秋葉社などがある。特に秋葉社は氏子達からの崇敬が篤く、安政5年(1859)から毎年、秋葉山本宮に初穂料を納めた資料が現存している。